

令和3年度第1回子ども・子育て会議 第2期くるめ子どもの笑顔プランの令和2年度実績に関する質問・回答

該当項目	提出者	内容	回答
成果指標の現状値	子育てグループ パパラフ 代表 宮里委員	<p>①新型コロナの影響で計画が予想と異なっただと思われるが、進め方の対策として何か変更した点、もしくはその予定はあるか？</p> <p>②アンケートの結果がないため現状値把握は難しいが、窓口対応などで体感として相談が増えたや減ったなどの事から、現状結果はどのようになるかの見込みは出るか？</p>	<p>①令和2年度の実績において、出生数の減少が久留米でも発生しており、就学前児童の数値に影響が出ております。このような状況を踏まえ、令和4年度に予定している計画の中間見直しの中で、対応策等の検討を行っていきたいと考えております。</p> <p>②窓口における相談等の業務において、アンケートを実施した場合の結果を推測することは困難であると考えております。</p>
令和2年度地域子ども・子育て支援事業実施状況	子育てグループ パパラフ 代表 宮里委員	<p>③【一時預かり事業】保育所の実績が減少し、幼稚園での実績が上昇しているが、この差の要因は何か？保育所での預かりが困難で幼稚園に流れているのか？</p> <p>④2年度実績は計画との差が結構あるように感じるが、実情をふまえて変更するのか？それとも、コロナの影響が落ち着いた後、計画に近づくことを想定しているのか？</p>	<p>③令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による利用自粛などもあり、保育所・幼稚園ともに令和元年度の利用件数より減少しています。今後の対応策については、令和4年度の中間見直しの際に、現状を分析し、見直しを行う予定としております。</p> <p>④上記①の回答と同様。</p>
	久留米市学童保育所 連合会 事務局長 内田委員	<p>【放課後児童健全育成事業】「R3～R6年度量の見込み及び対応策」について、資料6で示されている人口推計ではR6までに2～3%の減少ラインと一致しないのはなぜか。利用率の上昇であるなら、その根拠の提示及び計画内に解説を加えてほしい。 令和3年度の入所児童数は減少しており、現状を踏まえた計画の修正が必要ではないか。</p>	<p>第2期プラン策定時には、入所率は増加傾向にあり、児童数推計がピークとなる令和4年度以降も、一定の入所児童数を維持するものと推計しておりました。しかしながら、令和2年度の入所基準導入後の2年間は、入所児童数は横ばいとなっており、令和4年度の中間見直しの際に、改めて現状を検証し、見直しの必要性も含め検討させていただきたいと思っております。</p>